



## 2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年5月8日

上場会社名 M-Amazia

上場取引所 東

コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良

TEL 03-6427-8856

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第2四半期の業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,314		180		163		126	
2018年9月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	40.04	38.53
2018年9月期第2四半期		

(注) 1. 2018年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2018年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2019年9月期第2四半期の対前年同期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式は2018年12月20日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、新規上場日から2019年9月期第2四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,175	780	66.3
2018年9月期	565	308	54.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 780百万円 2018年9月期 308百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		0.00	0.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,027	120.1	300	281.4	283	266.1	210	121.3	64.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年9月期2Q	3,302,300 株	2018年9月期	3,018,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年9月期2Q	112 株	2018年9月期	0 株
------------	-------	----------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2019年9月期2Q	3,170,601 株	2018年9月期2Q	株
------------	-------------	------------	---

(注)当社は2018年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2018年9月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2018」によると、当社が属する電子書籍市場規模は、2017年度で2,241億円と推計され、2016年度の1,976億円から13.4%増加し、2022年度には2017年度の約1.4倍の3,150億円に拡大すると予測されています。また、2017年度の無料マンガアプリ広告収益市場規模は、100億円と推計され、2016年度の78億円から28.2%増加し、2018年度には2017年度の1.2倍の120億円に拡大すると予測されています。しかしながら、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。

このような経営環境の中で、当社は出版社等と協業して新作マンガを共同制作し、雑誌と「マンガBANG!」で同時配信するといった取組みによる新規ユーザーの獲得に注力するとともに、「マンガBANG!」主力コーナーであるフリーミアムモデル（注）のコーナーで、2018年10月より株式会社秋田書店、2019年1月より株式会社スクウェア・エニックスと新規取引開始するなど、配信作品を増加することで他社サービスとの徹底的な差別化を進めております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,314,596千円となりました。利益面については、積極的な広告宣伝の実施、新規上場に伴う株式公開費用、株式交付費が発生したものの営業利益は180,765千円、経常利益は163,628千円、四半期純利益は126,937千円となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注) フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,175,926千円となり、前事業年度末に比べ610,767千円増加いたしました。これは主に、2018年12月に当社が東京証券取引所マザーズ市場に上場したことに伴う公募増資の払込があったことや、オーバーアロットメントによる第三者割当増資の払込を受けたこと等により現金及び預金が359,020千円、本社移転に伴う敷金の差入により敷金及び保証金が45,127千円、売掛金が197,501千円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は395,859千円となり、前事業年度末に比べ138,832千円増加いたしました。これは主に、買掛金が56,652千円、未払金が58,689千円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は780,067千円となり、前事業年度末に比べ471,934千円増加いたしました。これは主に、増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ172,626千円増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が126,937千円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ359,020千円増加し、598,198千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは90,927千円の収入となりました。主な要因は、売上債権の増加197,501千円により資金が減少した一方で、税引前四半期純利益の計上163,628千円、仕入債務の増加56,652千円、未払金の増加60,689千円により資金が増加したことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは60,036千円の支出となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出46,914千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは328,130千円となりました。主な要因は、当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴う公募増資とオーバーアロットメントによる第三者割当増資による株式の発行による収入338,814千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年12月20日に公表した2019年9月期(2018年10月1日～2019年9月30日)の業績予想を修正しております。

詳細は、2019年4月26日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当該業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	239,177	598,198
売掛金	250,689	448,190
その他	19,473	26,981
流動資産合計	509,340	1,073,370
固定資産		
有形固定資産	2,969	13,321
投資その他の資産		
敷金及び保証金	22,324	67,452
その他	30,525	21,782
投資その他の資産合計	52,849	89,234
固定資産合計	55,819	102,556
資産合計	565,159	1,175,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,114	130,767
1年内返済予定の長期借入金	3,783	3,783
未払金	110,460	169,150
未払法人税等	14,977	32,773
その他	46,992	54,434
流動負債合計	250,329	390,908
固定負債		
長期借入金	6,697	4,951
固定負債合計	6,697	4,951
負債合計	257,026	395,859
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	161,472	334,099
資本剰余金	157,758	330,385
利益剰余金	△11,098	115,839
自己株式	—	△256
株主資本合計	308,132	780,067
純資産合計	308,132	780,067
負債純資産合計	565,159	1,175,926

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,314,596
売上原価	768,727
売上総利益	545,868
販売費及び一般管理費	365,102
営業利益	180,765
営業外収益	
受取利息	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	69
株式交付費	6,439
株式公開費用	6,938
その他	3,692
営業外費用合計	17,139
経常利益	163,628
税引前四半期純利益	163,628
法人税等	36,690
四半期純利益	126,937

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	163,628
減価償却費	1,222
差入保証金償却額	1,786
受取利息	△1
支払利息	69
株式交付費	6,439
株式公開費用	6,938
売上債権の増減額 (△は増加)	△197,501
前受金の増減額 (△は減少)	10,320
仕入債務の増減額 (△は減少)	56,652
未払金の増減額 (△は減少)	60,689
その他	△6,747
小計	103,497
利息の受取額	1
利息の支払額	△69
法人税等の支払額	△12,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,927
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△13,122
敷金及び保証金の差入による支出	△46,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,036
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△1,746
株式の発行による収入	338,814
その他	△8,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	328,130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	359,020
現金及び現金同等物の期首残高	239,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	598,198

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

当社は、2018年12月20日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。当社は株式上場にあたり、2018年12月19日を払込期日とする公募増資により、新株式240,000株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ145,728千円増加いたしました。

また、2019年1月22日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株44,300株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ26,898千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が334,099千円、資本準備金が330,385千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。